

もう2月、早いですねえ（毎年このセリフ^^;）さて、秘書の池田が第二子出産の為に産休に入りました。育児休暇で暫くお休み致しますが元気な赤ちゃんを生んで欲しいです。それに伴い受付クラークが私の隣で仕事をしております。不慣れな点もあるかと思いますが心配な事不安な事はどうぞ気軽にお伝えください。また今年からシールのプレゼントは検査や処置を行ったお子さんを対象と致しました。頑張った後のシールのご用命はお気軽にスタッフまでお申し出ください！
院長 池澤滋

感染症情報 12/23~1/26	前 回	今 回
アデノウイルス	10	37
溶連菌感染症	32	42
感染性胃腸炎	82	39
水痘（水ぼうそう）	2	4
手足口病	26	13
RSウイルス	0	3
突発性発疹	7	4
りんご病	13	22
EBウイルス	0	1
ヒトメタニューモ	2	1
インフルエンザA	274	204
インフルエンザB	1	10

4コマまんが Vol.2 「医療業界初!?」
作・絵ちえこ&きみこ



1 券売機 導入しました!!

2 何事? ザマサ?

3 これでお待たせ

4 押しまちがえが発生

※保護者の方が操作して下さい



住所：合志市野々島2461（ユーパレス弁天 北側）

TEL：096-242-6633

診療時間：9:00～ / 14:00～18:00

休診日：木曜・土曜午後・日曜祝

URL：http://www.ikezawa.org/

WEB予約：<http://ssc.doctorgube.com/ikezawa/>

▶ ホームページ



▲ ネット予約

憧れの外食

子どもたちが小さい頃の外食は何と言えいいのか「憧れ」だった。独身の頃は友達と月一回美味しいものを食べようと串揚げやイタリアンなどによく通った。しかし結婚して子どもを生んだ瞬間から自由に遊んでいた時とは違う世界に突入。自分が本当に行きたい店など行けるわけもなく、ひたすら近所のうどん屋さんか、夜ならファミリー居酒屋がせいぜい。それでもちょっとした記念日には欲張って洋食屋さんにてかけた。あの頃は、とにかく子どもに食べさせることが先で、どれなら食べられるのか？汚さないように食べるにはどうすればいいのか？ある程度食べてしまったら周りに迷惑をかけないようにどうやっておとなしく過ごせるのか？そんなことばかり考えていて、自分達が食事を味わう暇はなく、周りに気を使いすぎて帰宅後疲れてしまっていた。そんなことまでして、なぜあんなに「外食」に憧れたのだろう。夫は今では全く記憶に残っていないようだが、私は忘れていない。あれは3番目の娘がすでに生まれていて私達5人家族は何故かその日張り切って久留米のとあるおしゃれな洋食屋さんでディナーにてかけた。私は小さな子ども達に、まるで小鳥に餌を運ぶ母鳥のように食物をそれぞれの小さな口に運んでいた。



その隣には大学生くらいのお子さんを連れて四人

のファミリー。「あー、うわー！」アクシデントが起こる度隣の家族がにこやかにこちらを見る。それは「僕たちもあんな時があったんだろうな」という温かい眼差しだ。その眼差しを有り難く受けながら「こんなお店にちびっこを連れてきてごめんなさいと心で謝りつつ「いつになったら隣の家族のように優雅に食事ができるのだろう」と羨んだ。

しかしあれから既に20年が過ぎ、私達の子どもは皆家を出ていった。久しぶりに集まって外食することはあるがモチロン誰もぐずらないしウロウロ歩き回ることもない。夫が飲みすぎているかだけが気になるころだが、それ以外は何の心配もなくゆっくり食事を楽しんでいる。今度は私達が小さな子ども連れを温かい眼差しで見守る番だ。あの時、あのファミリーが私達にむけた温かい眼差しを今の私は持っているだろうか。

大変なことばかりに囚われていたが、俯瞰で見ればあの頃を幸せと呼ばずしてなんと表現しよう。「あー、ちょっと待って！もー！ダメー！」賑やかな家族の横で静かに微笑む私達がいる。それは子育てを終えた余裕ではなく、小さな我が子を投影し、懐かしみ、二度と味わえないあの頃への「憧れ」なのかも知れない。

文責 池澤千恵子

